

◎平成27年度事業の導入候補(個票)に対する評価及びコメント概要

委員順番はランダムに配置

No	区	学校名	低炭素化基準：低炭素化を進めるうえでの妥当性を精査するための基準					災害対策基準：避難者などの受け入れに係る必要性を精査するための基準					政策的基準：市の施策とのバランスから効果的な導入を進めるための基準					評価 (各委員が15箇所程度を選定)					◎の 合計数
			建築物に設置スペースがあるか	周辺に高い施設がないか、またその予定はないか	高さ制限の有無	日照量と設備の稼働予想(発電量・自家消費量・売電)	平常時の施設用途や使用状況	避難所の機能(収容人数、発電設備、防災井戸等)	千葉市ハザードマップ情報	現地の周辺調査(宅地・道路の状況)	駅や集客施設からの距離	避難所運営委員会の設置状況	再生エネルギー導入施設のバランス(市域・区域のバランス)	施設の種類のバランス	地理特性から整理(地域パターンや高齢者の割合等)	建築・改修時期(今後20年程度の活用が見込まれるか)	事業費の増減要因	A	B	C	D	E	
1	中央区	寒川小学校	・太陽光パネルの設置条件はよい ・蓄電池の設置スペースはほとんどない					・避難所運営委員会が未設置である					・地域的なバランスでは設置が望ましい ・塩害等から事業費がかさむように思える										0
3		鶴沢小学校	・蓄電池の設置スペースが狭い					・避難所運営委員会が未設置である					・設備が分散するので事業費がかさむように思える ・施設周辺の居住者は少ない										0
4		生浜東小学校	・設備設置にあたり妥当 ・校舎周辺に何も無いから大丈夫					・市民活動が活発に行われている ・避難者の数が多いと想定され、災害対策上設置が必要					・地域的なバランスをみても設置の必要がある ・地理特性から導入は必要である					◎	◎	○	◎	◎	5
5		椿森中学校	・設備設置にあたり妥当 ・体育館にも乗せられそうに思える					・市民活動が活発に行われている ・災害対策上密集地帯が多く運営委員会も意識が高い					・地理的に東千葉住民も避難対象になる ・高齢者の割合も高く必要である					○	◎		◎	◎	4
7	花見川区	検見川小学校	・塩害の確認が必要 ・校舎屋上の煙突は気になる					・避難所運営委員会が未設置である ・町として災害対応が必要(液状化の可能性あり)					・区域のバランスを考慮し、事業費の問題を考える ・塩害が気になる						○				1
8		柏井小学校	・設置の設置条件はよく、広いのもよい					・地域・市民活動が活発 ・避難所の機能や地理的問題を含め、必要性が高い					・花見川区の地理的なバランスから設置の必要がある ・事業費の問題はあるが、区域バランス的に必要性が高い					◎	◎		◎	◎	4
12		緑が丘中学校	・設置の設置条件はよい					・現在避難所委員会は未設置 ・地理的に災害対策上は問題は少ない					・北高校と宮城野スポーツセンターに隣接している ・人口は密集していない							◎			1
13		朝日ヶ丘中学校	・日照の問題が大きい ・体育館の屋根に影ができないか確認が必要となる					・古い住宅が多く、避難が予想され、災害対策が必要 ・市民活動は活発					・公民館が隣接し、高齢者対策はされている ・人口はかなり多い						◎		◎	◎	3
14	幕張本郷中学校	・太陽光パネルの設置条件はよい					・帰宅困難者が多いと考えられ、災害対策上必要が高い ・避難所運営委員の未設置である。					・区域のバランスを考えると必要性がある ・費用の点が気にかかる					○		○		○	3	
15	稲毛区	稲丘小学校	・施設の設置条件はよい(周辺に高いものもない) ・方角はあまりよくない					・市民活動は活発 ・帰宅困難者が多くなることが予想される					・地理的なバランスから設置の必要がある ・避難対象人数を確認する必要がある						◎		◎	◎	3
16		柏台小学校	・電気室が狭く、体育館と離れている					・避難所運営委員会は機能している ・周辺の住宅事情から必要性がある					・古い家屋が存在し、必要性は十分考えられる ・隣接地区にあやめ台小(H26施設)がある					○			◎	◎	3
18		第二養護学校	・施設の設置条件はよい ・蓄電池は屋外設置でも条件がよい					・「養護学校」だということを考慮するべき ・避難所が3か所隣接していて、収容人員は少なめ					・地域的なバランスからみて必要性は低い ・集合住宅が多さ等から在宅避難を推奨している					◎	◎				2
19	若葉区	桜木小学校	・屋上の設置条件はよいが、方角が悪い ・分電盤・接続盤が遠い					・避難所運営委員会は設置準備中 ・比較的空き地が多く、災害上の重要性が低い					・地域的なバランスを考えた時に、効果的ではない ・事業費の問題が存在する										0
20		みつわ台南小学校	・施設の設置条件はよい ・コンパクトにおさめられる					・住宅地、住民の活動拠点が集まり、設置に適している ・避難所運営委員会の活動はあまり活発ではない					・新しい住居が多く、避難する住民は多くないと考えられる					◎	○	◎	○		4
22		加曾利中学校	・設置面積がきちんと取れば条件はよい ・太陽光パネルの方角や乗せ方に検討が必要					・ハザードマップ情報では必要性が高い ・農地と住宅地が混在し、避難民受入れの必要性は少ない					・事業費に問題がある ・地理的に住宅の数も限られている					○	○			○	3
24		大宮中学校	・校舎の方角がよくない ・並びを工夫する必要があり、費用がかかりそう					・市民活動が活発なので、災害時は収容人員も多くなる ・災害上の重要性がやや低い					・隣接小学校で屋根貸し事業を行っているが問題ない ・事業費の問題が存在する								◎	◎	2
25		山王中学校	・施設の設置条件はよい ・配線は距離があるが、並びはよい					・避難所運営委員会は活動をしている ・稲毛区に隣接し、住民が多く避難する予定。					・地理的にみて、バランスがよい ・工業地域での導入は他と比較してバランス的によい					◎	◎	○	◎	◎	5
26		貝塚中学校	・方角が悪く、朝しか当たらない					・避難所運営委員会は準備中 ・災害上の重要性が低い					・費用面の問題が残る										0
31	緑区	小谷小学校	・施設の設置条件はよい ・方角・屋根よい					・おゆみ野地区でも中心にある小学校 ・市民活動は活発(運営委員会も活動している)					・おゆみ野地区では、全体的なバランスが良い ・扇田小と比較した場合にこちらがよい					◎	◎	○	◎	◎	5
32		大椎小学校						・新興住宅地で在宅避難を中心 ・避難所運営委員会は存在するが、あまり活発ではない					・施設・地理特性等から導入の必要性は低い ・大椎中に入れるなら、立地関係から外す							◎			1
34		土気中学校	・方角が悪く、朝しか当たらないのでは ・太陽光パネルを2方向に配置する等の工夫が必要					・周辺は空き地も多く、避難民の数は少ないと考えられる ・周辺状況は、昔ながらの家があるなど導入に妥当					・土気駅に近いため、導入の必要性は高い ・人口は増えているが今後の必要性はどうか						○	○			2
35		越智中学校						・災害時に孤立する可能性はあるが、周辺に別施設も有る ・山中では高齢者の避難ができない					・複数の自治会が協力して活動できる地区 ・土気中が難しい場合はこちらが妥当								◎	○	2
38		あすみが丘小学校	・体育館屋根に波板をつけている ・太陽光パネルの設置が可能か確認が必要					・集客施設が周辺に多く、避難所としての効果は高い ・避難所運営委員会は存在するが、あまり活発ではない					・地域的なバランスを考えると、あすみが丘地区で一か所が妥当										0
39		扇田小学校	・屋根の形状が複雑な形をしている					・集合住宅が多く、在宅避難が主なので、必要性に欠ける					・事業費に問題がある ・小谷が難しい場合はこちらが妥当							○		○	2
40	大椎中学校	・武道場の屋根に設置可能なら設備設置条件はよい					・建物も大きく、避難所としての収容人数を確保できる ・運営委員会は活発なので、収容人員は多くなると思われ					・土気地区の中で全体的なバランスがよい ・あすみが丘地区ではここが良いと思われる					○	◎		○	◎	4	
41	美浜区	磯辺第三小学校	・屋根太陽光パネルの設置が可能か確認が必要 ・津波対策が必要					・地域・市民活動が活発 ・液状化など災害上の重要性はあると思われる					・磯辺小と地理的に近い ・磯辺で固まっているが必要が高く設置が妥当					○	◎	○	◎		4
43		磯辺小学校	・太陽光パネルの設置条件もよい ・津波対策が必要					・地域・市民活動が活発 ・帰宅困難者も考えられ、磯辺地区で必要とされる					・磯辺第三小と地理的に近い ・磯辺で固まっているが必要が高く設置が妥当					◎	◎	○	◎	◎	5